

平成21年度第6回経営改革推進委員会 会議内容（概要）	
開催日時	平成21年11月5日（水） 13:30～15:30
場 所	本庁舎5階AB会議室
出席者	[委員長] 島田副市长 [委員] 橋本財政部長(副委員長)、福島企画政策部次長、広瀬総務部次長、藤田財政部次長、角川環境部次長、斉藤市民経済部次長、野中保健福祉部次長、三橋都市整備部次長 諏訪こども部次長、太田議会事務局次長、植草選挙管理委員会事務局長、秋田教育総務部次長、早瀬生涯学習部次長、土屋消防本部次長、企業局金子業務部次長、 ※欠席：宇田川監査委員事務局、常田農業委員会事務局長、 押田学校教育課次長（代理出席：江口学校教育課係長）、 企業局松井工務部次長（代理出席：植草建設課長）
議 事	I. 検討事項 1. (仮称) 第2次集中改革プランで示すべき習志野市の将来ビジョンについて 2. 「財政改革緊急対策方針」の実施に向けた現状と課題等について 3. まだ見えてこない新政権の政策及び平成22年度予算にどう対応していくか 4. 12月議会の対応について 5. その他

## I. 検討事項

### 1. (仮称) 第2次集中改革プランで示すべき習志野市の将来ビジョンについて

- ・事務局より、改革を進めるにあたって、(仮称) 第2次集中改革プランで示すべき本市の将来ビジョンについて、委員の意見を伺いたい旨、説明。その後、意見交換を行った。
- ・委員からは、「26年度までは基本構想に基づく後期基本計画が、議会・市民に約束しているまちづくりの当面のビジョンである」「暮らしに根付いた具体的な事業名で将来的なビジョンを表わすべきではないか」「自分たちのまちのことは自分たちでやっていく“協働のまち”として、市民に参加していただけるような方策を考えるべき」「改革後に何の事業を持ち上げていくかを市民が提案し、決められるシステム自体が必要であり、今我慢してもいずれ市民のリターンになるということが実感として出ることが市民協働へつながっていくのではないか」「民間活力の導入がどれだけ市民の役に立っているかをもっと可視化する必要がある、民間サービスのこれだけある中、公的サービスはこれだけの部分を行うのだということが見えなければならない」「身の丈に合った市民サービス、予算について、もっと市全体でかつて無い財政の厳しさをアナウンスしていかないと納得が得られない」「今までとは違った次元の価値観に新しい自分たちの生き方を見出す時期であり、これから先お金でサービスをするといったことではなく、生きていく中でこうしたことに価値を見出しながらやっていく時代なのだとすることを掲げるべきではないか」といった意見があった。
- ・本日出された意見を踏まえ、事務局にてまとめていくこととし、了承した。

### 2. 「財政改革緊急対策方針」の実施に向けた現状と課題等について

各委員より報告された現在の状況について、了解。改革項目のうち、事務局がリストアップした事業について、該当部局において、改めて市長へ現況を説明する場を設定することとし、了解した。

### 3. まだ見えてこない新政権の政策及び平成22年度予算にどう対応していくか

現時点において情報収集が得られた内容と各部の状況について、関係委員より報告がなされ、未だ詳細が示されない中、引き続き情報収集に努めることとした。また、22年度予算編成について、国の当初予算が本格的に動く12月中旬以降、財政課と早めに協議・連携し、対応する旨、了解。

### 4. 12月議会の対応について

重要事項として、(仮称) 第2次集中改革プラン策定の中間報告となる「財政改革緊急対策方針」を説明する資料について、各部の意見を踏まえて事務局が作成・修正していく旨了解した。